

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」山形松波校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法令順守のスペースを確保している。	
	②	職員の配置数は適切である	○		法令で必要とされている人数を配置している。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○		事業所が2階にあるので送迎時の転倒防止のため必ず声がけを行っている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		安心して過ごせる環境を整えている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		朝夕のミーティングで業務改善目標の共有を行っている。	シフト制での勤務になるため一度に全員で共有できない際は、社内ネットワークも活用しすべてのスタッフが情報共有できる環境を整えている。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		事業所評価やフィードバックでの意見から業務改善に繋げている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		クラゼミのホームページにて公開している。校舎待合スペースに閲覧用ファイルを置いている。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		事業所間での研修やクラゼミ全体での研修に参加している。	

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		期間ごとにアセスメントを行い、担当者と現在の様子も踏まえうえで個別支援計画を作成している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		クイズミで統一されたアセスメントシートを使用している。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		児童発達支援計画の内容を確認し必要な支援を実施している。	お子様の発達や様子に合わせ計画の変更など臨機応変に対応していく。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		複数の担当者がある場合はそれぞれで意見交換しながら行っている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		利用者の状況に合わせてプログラムが固定化されないように努めている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		現在は個別活動のみ行っている。	希望者が増えた際には、小集団での活動を実施していく。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼を行い、情報共有、当日の予定者の確認を行っている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼を行い、情報共有、明日の予定者の確認を行っている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			

	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		期間ごとにモニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				対象者なし
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				対象者なし
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて関係機関との情報共有を行っている。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて関係機関との情報共有を行っている。	管理者のみではなく担当指導員も一緒に参加できるように調整していく。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		自治体などで開催されている会に参加している。	管理者が参加することが多いため、校舎スタッフも参加できるように調整していきたい。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		支援終了後のフィードバックや個別相談、Lineを活用して情報共有を行っている。	

保護者への説明責任等	⑳	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○	○	専門的なペアレントトレーニングは行っていない。個別で相談支援の機会を設けている。	
	㉑	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明を行っている。変更があった際は同意書のをいただいている。	
	㉒	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	㉓	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	○	感染予防のため実地していない。	状況や希望者に合わせて実施できかどうか検討していく。
	㉕	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		事業所に受付者、解決責任者を設定している。いただいた相談に対して適切に対応することに努めている。	
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		SNS、やまぐら通信を活用し情報の発信をしている。	
	㉗	個人情報の取扱いに十分注意している	○		書類は鍵付きの書庫に保管している。個人情報にアクセスできる機器にはパスワードを設定している。	
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	○		

非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各種マニュアルの作成、防災訓練を実施している。	定期的に周知ができていないため掲示物等で保護者様がいつでも確認できるようにしていく。
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月防災訓練を実施している。	
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		フェイスシートや面談を通して確認している	
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			食事の提供はしていないが、アレルギー等はフェイスシート等で確認している。	
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		校舎間でヒヤリハット報告を共有している。	
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		委員会の設置、研修を実施しております。	
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」山形松波校 保護者等数（児童数）：4 回収数：4 割合：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4	0	0	0	ジャンプしたり、ボールが壁にぶつかったりするので音がうるさいと思います。	楽しく元気に活動してもらっているのが嬉しい限りです。今後も怪我の無いように見守っていきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	3	0	0	1	職員の配置数に関しては分かりませんが、専門性については、子どもに合わせて対応してくれていると思います。	今後も専門的なスタッフがご相談に合わせて対応してまいります。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	2	0	0	建物が2階のため、降りる時に飛び出しなど気をつけている。	今後も怪我防止のため私たちも声かけや見守りを続けていきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3	1	0	0		
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	4	0	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	0	0	0		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4	0	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	4	0	0	0		

	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	2	0	1		
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4	0	0	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	4	0	0	0		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	3	0	0	1	日々の支援の時に、アドバイス等いただき、助かっています。	ありがとうございます。支援終了後のフィードバックや相談などありましたら、気軽にご相談いただければと思います。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	4	0	0	0		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3	0	0	1		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	1	1	2	父母の会は、難しいと思う。希望者で年1回講和を聞くなど集まる機会があってもいいかも	貴重なご意見ありがとうございます。エリア全体でも共有し、実施について検討していきたいと思っています。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	4	0	0	0		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4	0	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	3	1	0	0	ホームページのブログやインスタグラムもみています。	ありがとうございます。今後も定期的に更新していきたいと思います。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	4	0	0	0		
	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	3	1	0	0		
非常時等								

の 対 応	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	0	0	1			
	満 足 度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	4	0	0	0	大変楽しみにしています。	ありがとうございます。今後も皆様に楽しみながら利用していただけるように努めてまいります。
		㉓	事業所の支援に満足しているか	4	0	0	0	息子の特性や成長具合に合わせて療育内容を考えてくれて感謝しています	引き続きお子様の様子や理解度に合わせて活動していきたいと思っております。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。